



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. C 2. B 3. A 4. D 5. B 6. A 7. C 8. D

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

🦃 = turkey 🥧 = pie 🌽 = corn 🍁 = leaf 🚢 = ship 🏈 = football 🥔 = potato 🎈 = balloon

Unscramble

1. TURKEY 2. HARVEST 3. PILGRIM 4. FEAST 5. THANKFUL 6. SETTLER

Fill in the blanks

(1) Thursday (2) hours (3) turkey (4) pumpkin (5) table (6) thankful (7) card (8) stories (9) hug (10) football

Sentence order

1. Families eat turkey on Thanksgiving Day.
2. I am thankful for my good friends.
3. The party lasted for three days.
4. Canada has Thanksgiving on a Monday in October.
5. Many people travel home for the holiday.

Secret Code

HAPPY THANKSGIVING (ハッピー・サンクスギビング)

Maze — Secret word

THANKS

解説 (Reading Check)

1. C 本文は1621年の宴から祝日になるまでの歴史と、最後の段落で先住民の見方を紹介し、there is more than one story to tell と結んでいます。ワンパノアグはもともとその土地に住んでいた人々です。
2. B 第1段落に about 90 Wampanoag men arrived とあります。約50人はイギリス人入植者の数です。
3. A 第2段落に made an agreement to protect each other とあります。どちらも病気や厳しい冬で弱っていたことが背景です。
4. D 第3段落に sent letters to five presidents for 17 years とあります。その結果、1863年にリンカーンが賛成しました。
5. B 直前に what their people lost (自分たちが失ったもの) とあり、それを悼む日だとわかります。発音が同じ morning (朝) と混同ないようにしましょう。
6. A 第4段落に In Canada, Thanksgiving comes earlier, on the second Monday in October. とあります。リンカーンは1863年、最初の冬はひどかった、見方は人によって違う、なのでほかは誤りです。
7. C 第2段落から、イギリス人は最初の冬に半分以上が亡くなり、ワンパノアグも病気で多くを失っていたことがわかります。祝日になったのはずっと後で、ワンパノアグの人々も参加していました。
8. D 家族がみんな帰ってくると聞いて、リョウは It's like New Year's in Japan. と言っています。実家に帰る点が似ているからです。



和訳（問題文）

- T/F 1. アメリカの感謝祭は11月の第4木曜日だ。
- T/F 2. カナダの感謝祭は12月だ。（10月の第2月曜日）
- T/F 3. 1621年の収穫のお祝いには約90人のワンパノアグの男たちが来た。
- T/F 4. 感謝祭は1621年に国の祝日になった。（1863年）
- T/F 5. サラ・ジョセファ・ヘイルは『メリーさんのひつじ』を書いた。
- T/F 6. すべてのアメリカ先住民が同じように感謝祭を祝う。（受け止め方はさまざま）
- Unscramble 1. TURKEY＝七面鳥
- Unscramble 2. HARVEST＝収穫
- Unscramble 3. PILGRIM＝ピルグリム
- Unscramble 4. FEAST＝ごちそう、宴
- Unscramble 5. THANKFUL＝感謝している
- Unscramble 6. SETTLER＝入植者
- Order 1. 家族は感謝祭の日に七面鳥を食べます。
- Order 2. 私はよい友だちに感謝しています。
- Order 3. そのお祝いは3日間続きました。
- Order 4. カナダでは10月の月曜日に感謝祭があります。
- Order 5. 多くの人が祝日のために帰省します。
- ... has eaten turkey＝七面鳥を食べたことがある
- ... likes pumpkin pie＝パンプキンパイが好き
- ... can name a country in North America＝北アメリカの国の名前を言える
- ... knows the song Mary Had a Little Lamb＝『メリーさんのひつじ』の歌を知っている
- ... has traveled to see family for a holiday＝祝日に家族に会いに出かけたことがある
- ... can say three things they are thankful for＝感謝していることを3つ言える
- ... knows the date of Labor Thanksgiving Day＝勤労感謝の日の日付を知っている
- ... has watched American football＝アメリカンフットボールを見たことがある
- This year, I am thankful for _____ because _____.＝今年、私は_____に感謝しています。なぜなら_____だから。
- If I had a Thanksgiving dinner, I would invite _____ and cook _____.＝もし感謝祭のディナーを開くなら、私は_____を招いて_____を料理します。
- One thing I learned about the Wampanoag is _____.＝ワンパノアグについて私が学んだことの1つは_____です。

全訳（Reading）

1 1621年の秋、北アメリカにあるイギリス人の小さな村で、収穫のお祝いが開かれました。そこには約50人のイギリス人入植者がいました。そこへ、指導者ウサメクィンとともに、約90人のワンパノアグの男たちがやってきました。彼らは3日間とどまり、食事のために5頭のシカを持ってきました。

2 どちらのグループにも、つらい事情がありました。イギリス人は1620年、メイフラワー号という船でやってきました。最初の冬はひどく、約半分が亡くなりました。その数年前には、おそろしい病気で多くのワンパノアグの人々が亡くなっていました。そこで、2つのグループはお互いを守る約束を結びました。

3 今では、多くの人がこの食事を「最初の感謝祭」と呼びます。でも、国の祝日になったのはずっとあとのことです。サラ・ジョセファ・ヘイルという作家が、17年間、5人の大統領に手紙を送りました。1863年、ついにエイブラハム・リンカーン大統領が賛成しました。ヘイルは、有名な子ども向けの詩『メリーさんのひつじ』も書きました。

4 今、感謝祭は11月の第4木曜日です。何百万もの家族が国じゅうを移動して、七面鳥やマッシュポテト、パンプキンパイをいっしょに食べます。多くの人が、ニューヨークの大きなパレードやフットボールの試合をテレビで見ます。カナダでは、感謝祭はもっと早く、10月の第2月曜日にやってきます。

5 この日の思い出し方は、人によって同じではありません。多くのアメリカ先住民にとって、この日は自分たちが失ったものを考える時でもあります。1970年から、その一部の人々は、感謝祭の日にブリマスに集まり「全米追悼の日」を開いています。感謝祭のテーブルには、語られるべき物語が1つだけではないのです。

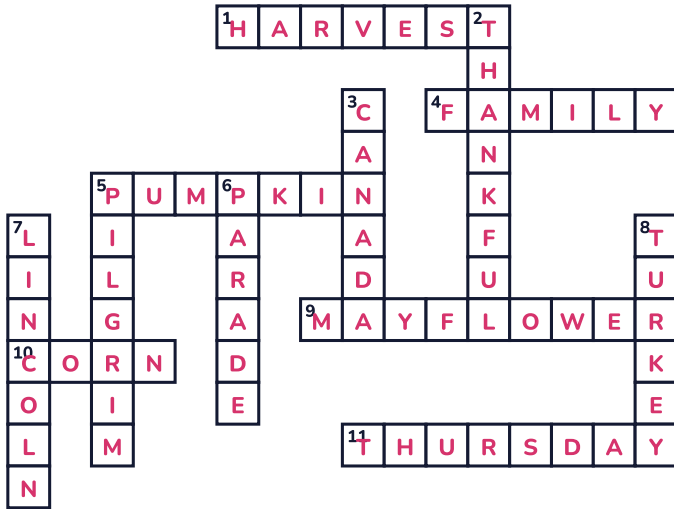


Answer Key (Puzzles)

解答 (パズル)

Class _____ No. _____ Name _____

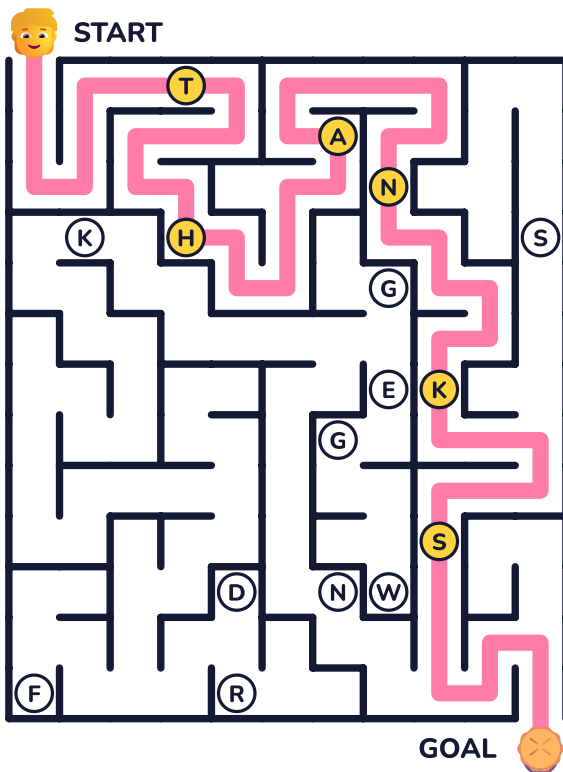
Crossword



Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1：Comprehension

1. B 第1段落で物語が19世紀につくられたこと、第2段落でワンパノアグ側の事情、第3段落で祝う人・悼む人の両方の見方が示され、最後に both perspectives を伝える動きでまとめています。1は第3段落の「収穫への感謝は1621年よりずっと前から先住民の暮らしの一部だった」と矛盾します。3のウィンズロウは手紙を書いた入植者で、物語をつくったのは19世紀の作家や政治家です。4は本文と逆で、博物館は両方の視点を伝えようとしています。
2. D 第1段落 it never calls the event a thanksgiving が根拠です。1の宗教的な礼拝とは書かれていません。2は誤りで、手紙は1621年の出来事の firsthand account（当事者の記録）であり、19世紀は物語が形づくられた時期です。3の招待については本文に書かれていません。
3. A 第1段落 when writers and politicians were looking for symbols that could unite a divided nation が根拠です。2の新しい手紙の発見、3のワンパノアグの要望、4の博物館の集客は、どれも本文に書かれていません。
4. C 同じ段落で、病気の大流行が数年前に共同体を大きく傷つけたことが述べられています。弱った立場から計算して選んだ同盟、つまり身を守るために結んだと推測できます。1は weakness と逆です。2の「強制された」は strategic decision（自分たちで考えて決めたこと）と合いません。4の「すぐに後悔した」は本文から読み取れず、同盟がくずれたのは2世代のうちです。
5. A devastate は「（町や人々に）壊滅的な被害を与える」。主語が An epidemic（伝染病の大流行）で、その結果ワンパノアグが a position of weakness（弱い立場）にあったという流れから、badly damaged が合います。ほかの選択肢はどれも病気がもたらした結果として意味が通りません。
6. B 第3段落は、追悼の日とする人々と、収穫への感謝は先住民の暮らしの一部だったとして祝う人々の両方を紹介しています。先住民の中にも見方の違いがあることを示すためです。1の「追悼の日はまちがい」とは書かれていません。3の日付の理由、4の「1621年の宴はなかった」は本文にありません。

発展セット C2：Vocabulary

1-c (firsthand＝直接の、自分で見聞きした) 2-d (unite＝まとめる、団結させる) 3-e (epidemic＝伝染病の大流行) 4-f (devastate＝（壊滅的に）打ちのめす、荒廃させる) 5-g (alliance＝同盟) 6-h (strategic＝戦略的な、計算した) 7-a (collapse＝崩壊する、くずれる) 8-b (perspective＝視点、見方)

Paraphrase（例）

1. But the only record of the 1621 gathering written by someone who was there is a short letter by the colonist Edward Winslow, and it does not describe the event as a thanksgiving.
2. Before two generations had passed, the alliance broke down and turned into one of the most violent wars in colonial New England.
3. More and more museums and teachers now try to show both sides. They use the holiday to start an honest conversation, not to tell a simple story.

Summary（例）

The popular story of Thanksgiving was mostly created in the nineteenth century, and the only firsthand record of 1621 never calls it a thanksgiving. For the Wampanoag, the alliance came after a terrible epidemic and later ended in war. Today, some mourn and some celebrate, so teachers try to show both perspectives.

Advanced Reading 全訳

- 1 ビルグリムとアメリカ先住民が平和に食事を分け合う光景は、アメリカ文化で最もなじみ深い場面の1つです。しかし、1621年の集まりについての当事者の記録は、入植者エドワード・ウィンズロウの短い手紙しかなく、そこではこの出来事を一度も感謝祭とは呼んでいません。「最初の感謝祭」の物語は主に19世紀に形づけられました。作家や政治家が、分断された国をまとめるシンボルを探していた時代です。
- 2 ワンパノアグにとって、背景はまったく違いました。わずか数年前に疫病が共同体に壊滅的な打撃を与えており、新参者との同盟は、弱い立場から下された戦略的な決断でした。2世代のうちに、その同盟は植民地時代のニューイングランドで最も血なまぐさい戦争の1つへと崩れていきました。
- 3 だからこそ、1970年から一部のアメリカ先住民は、感謝祭を「全米追悼の日」として過ごしています。一方で、収穫に感謝することは1621年よりずっと前から先住民の暮らしの一部だったと指摘し、祝うことに矛盾はないと考える人もいます。今では博物館や教師が両方の視点を伝えようとするが増え、この祝日を単純な神話ではなく、率直な対話の出発点として扱っています。